

## 三重県気候変動適応センターの取組状況

- ◆気候変動影響による被害の防止または軽減等を図る気候変動適応の取組を促進することを目的に、一般財団法人三重県環境保全事業団が県と協定を締結し設置（H31.4）
- ◆三重県における気候変動影響に関する情報収集・整理・分析・予測・評価、適応に関する情報収集、情報発信等の取組を行う

## 情報収集

○県民の理解を深めることを目的に多くの方が肌で感じる気候変動の影響について様々な分野の方にインタビューを実施

分野	対象
農林水産	米、いちご、黒ノリ、お茶、きのこ他
自然	ウミガメ、ネコギギ、ギフチョウ他
防災	自主防災組織、防災ボランティア他
健康	暑さによる市民プールの利用中止、小学校の授業の中止

○ヒアリング結果をまとめた冊子、リーフレットを作成

「私たちの暮らしと気候変動  
フィールドワーク2019」



## 情報発信

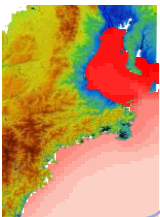
- ウェブサイトによる情報発信  
気候変動影響の現状、将来予測、適応策等
- 講演、イベント出展  
学校等での出前講座、イベントでのパネル展示等



## 影響予測

○海水温等の将来予測に基づく三重県沿岸域の養殖水産物への影響予測の実施

対象水産物：黒ノリ、マダイ、真珠（アコヤガイ）  
対象期間：21世紀中頃（2041-2055年）  
21世紀末（2086-2100年）



# 国民参加による気候変動情報収集・分析事業【1年目、2年目】

## 【1年目】 三重県内における気候変動影響（と適応策）のヒアリング

2019年 - 農林水産業、自然生態系、健康、防災分野の20件

### リーフレットの作成

- ヒアリング結果をまとめた「私たちの暮らしと気候変動 フィールドワーク2019」作成

### ウェブサイトの構築

- ヒアリング結果、日常業務など情報発信に活用

### フィードバック、報告、啓発

- リーフレット等を活用し、アンケート実施

## 【2年目】 気候変動影響の将来予測計算の計画書作成

2020年 三重県沿岸域における海水温の変化に伴う

①水産物の養殖適地変化

②養殖水産物への悪影響を及ぼす赤潮及び魚病リスクの増大

※水産業において適応策を推進するためには、海水温上昇予測情報の整備が重要。

将来予測計算のための収集整理する情報

- ・海水温度の長期変化傾向（現状）
- ・日本近海の海水温予測
- ・気温の長期変化傾向（現状及び将来）
- ・気候変動による水産物への影響
- ・先進事例



